

関東甲信越支部長活動報告

2011年5月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

本部通常総会が終了しました。定款改定案決議は理事会で審議未了のため、秋の臨時総会に持ち越しとなりました。定款改定は全会員の2/3賛成票が必要で、理事会が全会一致で議決した案でないと全国から賛成票を集めることは困難です。内容についてはほぼ意見集約されており、文言についての詰めが残る程度となっています。6月ないし、7月の理事会で決議し、8月、9月に全国支部で会員集会を開催し周知することになるでしょう。UIA東京大会開催について5月中旬にJIA-JOB-UIAの間でぎりぎりの調整が行われました。テーマを災害復興支援へシフトチェンジ、収支見込みの目処がほぼ立ったことの確認をしてUIA東京大会準備の最終段階に入ることができました。UIA東京大会直前の国際大会としてアルカシア大会（FORUM）が8月15日から20日までベトナムのリゾート地、ダ・ナンで開催されます。JIAアクティブ会員の国広ジョージ氏が現在アルカシア（アジア建築家連合）の会長職に就かれています。国広氏のご尽力でフォーラムの中で世界的な視点での災害復興のシンポジウムが企画されています。日本からも大勢の参加を募りたいと考えていますので、興味のある方は事務局までご一報下さい。

支部長活動報告

- 1日 3日前から仙台まで開通した新幹線に乗って仙台に向かう。途中、芦原会長、室伏副会長と合流し東北支部水戸部支部長、渡辺会員と共に仙台荒浜地区、女川町、石巻市を回る。被災地のどこを訪れても言葉を失う状況だが、特に女川町を見た時のショックは大変なものだった。女川町へは県道が高い位置から入るが、山に囲まれた女川町が高さ18.4mという津波に呑まれた様子がまざまざと蘇る。下に見える街は一面がれきの山で、街を囲う山の中腹には自動車が引っかかっている。海岸近くまで行ってみるとRC造の建物がいくつも転がって底を見せている。30歳半ばで阪神淡路大震災から20日後にJIAのボランティア活動で芦屋（東灘）を訪れた時、RC建物がそこら中で傾いている姿を見て大変なショックを受けたが、今回の惨劇はその比じゃない。夕方より東北支部事務局で東北6県の地域会長と意見交換をする。応急危険度判定等、被災地支援に飛び回りながら、復興支援についても積極的に活動されていることに感銘を受ける。
- 9日 今日は支部総会の日だ。先だって支部役員会が開かれる。今年は大きな審

- 議案がないが、昨年進めた支部委員会再編会議の報告を行った。総会後に会員懇談会が開催され、芦原会長に JIA の今後のビジョンを語って頂いた。災害復興について世界で考える大会として UIA 東京大会を開催するというメッセージを出された。懇談会の後半には災害対策委員会の中田準一会員より災害支援活動状況の報告を頂いた。夕刻には懇親会が盛会の内に開催された。
- 10日 第189回理事会が開かれる。定款改定案について議論するが決議に至らず、秋に臨時総会を開いて決議することを賛成多数で決める。リトアニア建築家展(EAST EAST 3)実行委員会が開催される。理事会が8時過ぎまで伸びたため、途中退席して参加する。6月1日より29日まで丸の内行幸通り地下ギャラリーにて「UIA2011TOKYO 111 Days Before」展として①UIA2011東京大会の紹介②東日本大震災復興支援活動③リトアニアー日本建築家展を開催する。
- 11日 山形にて全国支部長会議が開催され全国の活動報告がなされる。今回は近畿で開催される予定だったが、東日本大震災を受けて急遽東北での開催となった。
- 12日 朝早くからバスで気仙沼を目指す。途中、震度7を記録した栗原市を通過するが、目立った被害は確認できない。昼、気仙沼に到着する。津波の傷跡が生々しく残り、埃の様な物が舞って街中に異臭が漂っている。大きな船が大通りの真ん中に置き去りになっており、いくつかの船は家の上や庭先に流れ着いたままになっている。南三陸町、名取市を訪ねる。一面瓦礫の山で、生き物の気配を感じない。夕刻より東北支部の皆さんと意見交換をする。名取町在住の針生会員は庭先まで津波が押し寄せ、何とか住戸への被害を免れたが、亘里町在住の宮城地域会代表の渋谷会員は2階床まで浸水し、大きな被害を受けた。海岸から1km以上離れたこの地に400年前から住んでいるそうだが、この地域では被害の伝承がなかったそうだ。10年後の後輩達に仕事を繋げられるように、復興計画への積極的な協力を東北支部挙げて取り組んでいる。
- 16日 埼玉地域会総会に参加する。総会後の意見交換会で、被災地支援活動、UIA東京大会を議題に話し合いが持たれた。
- 17日 JIA-JOB 調整会議が開かれる。災害復興をテーマに掲げ、特にJOBプログラムである基調講演、テーマセッションは、はっきりと災害復興にシフトチェンジしたものにする。建築家ができることを社会に示し、災害に遭っていない準備が不十分な世界へ発信することは、成熟した日本でだからこそできることだ。
- 22日 新潟地域会卒業設計コンクールの審査を行う。3月に予定されていたが震災の影響でこの日に延期された。残念なことに就職後となり土日出勤や遠

- 方在住で本人によるプレゼンのない作品も多くあった。特にランドスケープの作品は本人の説明が不可欠だと強く思った。
- 25日 JOB 部会長会議に出席する。7月末までの早期登録で JIA が国内 2,000 人、国外 1,000 人、JOB が国内 1,000 人を責任持って集める事を確認した。代々木オリンピック競技場で開催予定の開会式は中止とし、ネットワーキングパーティーとして会場を変えて開催し、東京から世界へのメッセージ並びに被災地の声を届けることが計画されている。学術部会古谷部会長よりテーマセッションについて説明がなされた。会議後、JIA 会員に向けた文書による説明及び呼び掛けを頂いた。夕刻、東京建築士会総会懇親会に招待される。藤本建築士会連合会長が乾杯の挨拶の中で、UIA 大会参加を促すスピーチをされた。
- 26日 国際委員会が開催される。UIA 大会参加登録海外枠の 1,000 人は JIA が責任を持って対応することになった。バルセロナ大会では最後の一ヶ月で 5,000 人の登録があり、大変混乱したようだ。建築家の性分はどこも同じなようで参加登録はこれからが本番だ。
- 27日 一万人の建築家展実行委員会が開催される。一万人展では災害復興についてのメッセージ並びに記事をウェブサイトに加え、世界中から更なる登録を募っている。建築の仕事と思想を、それぞれの地域や文化圏で頑張っている世界の建築家が連携して発信する。スターアーキテクト展ではなく一万人の建築家展であることに意義があるし、UIA 大会開催の意義は正にそこにある。WEB 上での建築作品展参加は無料なので、JIA 会員はぜひ全員の登録をお願いしたい。UIA 大会ではこれらの作品を各プログラムの合間などでビジュアルで紹介することも企画している。
- 28日 東京都学生設計コンクールが開催される。例年通り 60 点以上の作品参加があり大変な盛り上がりであった。この度の震災を受けて建築の基本概念が変革する建築の将来を担う若者達に期待を込めて挨拶をした。
- 31日 本部総会が開催される。先だって 8:45 より UIA 大会推進コア会議が開かれる。芦原会長より、5月中旬に UIA、JOB、JIA とのぎりぎりの調整の結果 UIA、JOB、JIA が強く連携して UIA 東京大会を開催する事が報告された。第 190 回理事会の後、2011 年度定時総会が開催される。専務理事報酬金額に不服があるとして、近畿支部 4 地域会代表による動議が出されたが反対多数で否決された。会長の活動方針について、資格制度を 2002 年の 2 会合意に基づいて UIA 東京大会を目処に 2 会資格制度を統合しようという報告に対して会場より複数の意見が出された。また内向きの方針が多く、公益活動への言及が少ないという意見も出された。懇親会には 300 名近い参加者があり大変な盛会となった。3 階にも会場を設けていたが、1 階から出る人はいなかった。リトアニアから 10 名の建築家、10 名の学生が訪

れ、大使によるスピーチが花を添えた。懇親会と平行して JIA 本部事務局で JOB 学術部会が開かれ参加した。25 日に古谷学術部会長より頂いた文書について議論し、JOB と JIA が連携して企画を進めるため意見交換をした。夜半より丸の内行幸通り地下ギャラリー「UIA2011TOKYO 111 Days Before」展のセットアップに立ち会う。



支部長活動報告 2011年5月
2011年6月作成 上浪 寛



「UIA 東京大会」

<http://www.uia2011tokyo.com/ja/>

「一万人の建築家展」

<http://www.10000architects.com/>